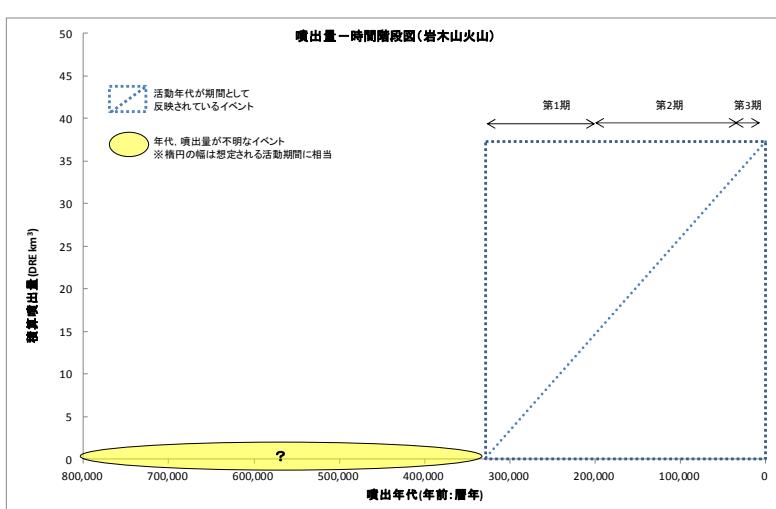


13. 岩木山火山



噴出物	年代 (年前:暦年)	噴出量 (DRE km ³)
1863年噴火	150	
1845年44年噴火	169	
1823年噴火	231	
1872年噴火	341	
1618年噴火	395	
1600年噴火	413	
鳥海山		
溶岩ドーム	1950	
山頂溶岩		
ドーム・巨柱石	3190	
山頂西側溶岩		
ドーム・アゲラ石	6840	
鳥海山	10,000	
溶岩ドーム		
新法師		
岩崩なだれ		
西法寺等森		
白川火砕流		
湯殿沢		
大鳴沢	100,000	
溶岩流		
後長根		
上部溶岩流	180,000	
岩鬼山		
溶岩流	210,000	
赤倉沢		
上部溶岩流	230,000	
黒森		
溶岩ドーム		
苦森山		
溶岩ドーム		
鍋森山		
溶岩ドーム		
水無沢		
鉄石層		
毒蛇沢	200,000	
溶岩流		
鶴見沢		
溶岩流	210,000	
赤倉沢		
中部溶岩流		
水無沢		
溶岩流		
赤倉沢	250,000	
下部溶岩流		
後長根	330,000	
下部溶岩流		
十勝内	650,000	
岩崩なだれ		
岩崩なだれの山体	不明	不明
—・岩崩なだれ		

岩木山(第2期、第3期)

37.24

第13-1図 噴出量一時間階段図（岩木山火山）

第13-1表 データセット（岩木山火山）

注1) : 名称については、より新しい知見に基づく
注2) : 測定誤差の小さいものを選出した
注3) : 幅がある場合には中央値を採用した

第13-2表(1) 活動履歴帳票(岩木山火山)

13. 岩木山火山		データベース(DB)等による年代・体積								
噴火史の概略		【年代】0.65Ma~現在(AD1863) 【体積】49km ³								
		引用DB 日本の火山(http://gbank.gsj.jp/volcano/)								
		【年代】西来ほか編(2014), 中野ほか編(2013)								
		【体積】第四紀火山カタログ委員会編(1999)								
新岩木山	第3期	1863年噴火	—	水蒸気噴火	AD1863	古文書解釈	DB	○	不明	—
		1845年44年噴火	—	水蒸気噴火	AD1845, AD1844	古文書解釈	DB	○	不明	—
		1782~83年噴火 : I 火山灰	—	水蒸気噴火	AD1782~83	古文書解釈	DB	○	不明	—
		1672年噴火	—	山体崩壊	AD1672	古文書解釈	DB	○	不明	—
		1618年噴火	—	水蒸気噴火	AD1618	古文書解釈	DB	○	不明	—
		1600年噴火 : II 火山灰	—	水蒸気噴火	AD1600	古文書解釈	DB	○	不明	—
		島の海溶岩ドーム	安山岩～ デイサイト	溶岩ドーム	2ka	層序	*1	▲	不明	—
		山頂溶岩ドーム・Ⅲ軽石	安山岩～ デイサイト	溶岩ドーム, 降下軽石	3ka	層序	*1	▲	不明	—
		山頂西側溶岩ドーム・IV軽石	安山岩～ デイサイト	溶岩ドーム, 降下軽石	6ka	層序	*1	▲	不明	—
		島海山溶岩ドーム	—	溶岩ドーム	0.01±0.05Ma	K-Ar年代	*2	○	不明	—
	第2期	新法師岩屑なだれ	—	岩屑なだれ	33ka～12ka	層序	*1	▲	不明	—
		西法寺森溶岩ドーム	安山岩～ デイサイト	溶岩ドーム	不明	—	—	—	不明	—
		白川火砕流	—	火砕流	不明	—	—	—	不明	—
		湯段沢溶岩流	安山岩	溶岩流	不明	—	—	—	不明	—
		大鳴沢溶岩流	安山岩	溶岩流	0.10±0.05Ma	K-Ar年代	*2	○	不明	—
		後長根上部溶岩流	安山岩	溶岩流	0.18±0.09Ma	K-Ar年代	*2	○	不明	—
		岩鬼山溶岩流	安山岩	溶岩流	0.21±0.05Ma	K-Ar年代	*2	○	不明	—
古岩木山	第1期	赤倉沢上部溶岩流	安山岩	溶岩流	0.16±0.05Ma	K-Ar年代	*2	○	不明	—
		黒森溶岩ドーム	安山岩	溶岩ドーム	0.23±0.04Ma	K-Ar年代	*2	○	不明	—
		笛森山溶岩ドーム	安山岩	溶岩ドーム	不明	—	—	—	不明	—
		鶴森山溶岩ドーム	安山岩	溶岩ドーム	不明	—	—	—	不明	—
		水無沢残石層	—	不明	不明	—	—	—	不明	—
		毒蛇沢溶岩流	安山岩	溶岩流	0.20±0.05Ma	K-Ar年代	*2	○	不明	—
		紫柄沢溶岩流	安山岩	溶岩流	0.21±0.05Ma	K-Ar年代	*2	○	不明	—
		赤倉沢中部溶岩流	安山岩	溶岩流	不明	—	—	—	不明	—
		水無沢溶岩流	安山岩	溶岩流	不明	—	—	—	不明	—
古岩木山	第2期	赤倉沢下部溶岩流	安山岩	溶岩流	0.25±0.05Ma	K-Ar年代	*2	○	不明	—
		後長根下部溶岩流	安山岩	溶岩流	0.20±0.05Ma	K-Ar年代	*2	○	不明	—
		十腰岩屑なだれ	—	岩屑なだれ (山体崩壊?)	>0.7Ma 0.65±0.02Ma	K-Ar年代 堆積速度の内挿	*1 *3	▲ ◎	1.3	引用
		岩屑なだれ発生前の山体	—	不明	不明	—	—	—	不明	—
										—

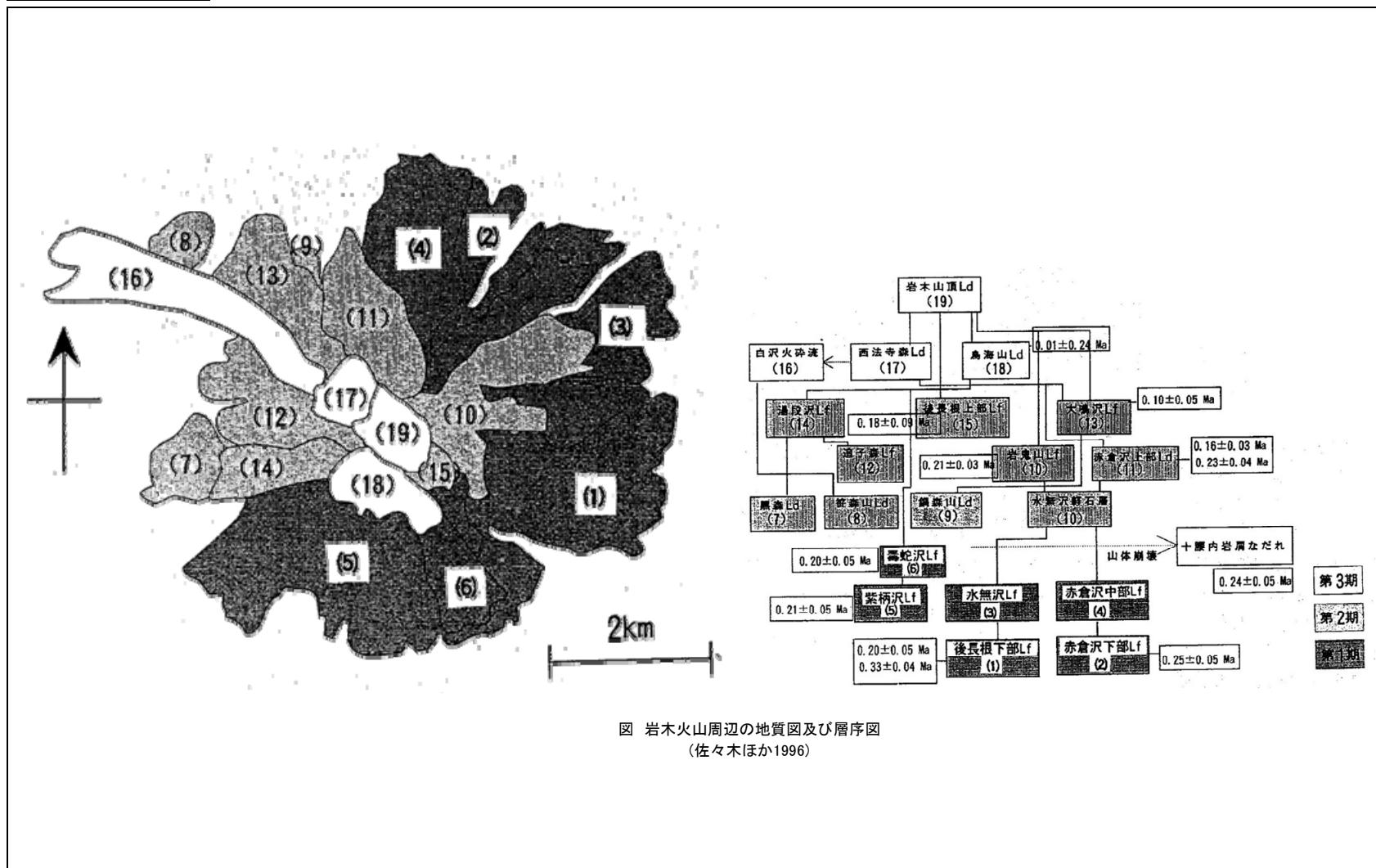
引用文献										
*1: 井村隆介 (1995) : 岩木火山の噴火史, 日本地質学会102年大会要旨, pp. 245.										
*2: 佐々木 実, 小川 洋, 斎藤憲二 (1996) : 岩木火山の形成史, 日本火山学会1996年度秋季大会講演要旨集, pp. 165.										
*3: 三村弘二, 金谷 弘 (2001) : 東北日本, 岩木火山北東麓の流れ山のK-Ar年代と岩木火山の火山体形成およびその崩壊時期, 火山, 46, pp. 17-20.										

※1: 第四紀火山カタログ委員会編(1999)を引用
 ※2: 文献中の階段図等から読み取った値
 注) DREに換算されている場合は斜体で表記した
 *: 放射年代, ○: 対応付論文, □: 講演要旨等
 △: 層序と矛盾, 試料・測定に疑問, 根拠未記載
 ■: 年齢速度の内挿, 時間割合を均等分配, 層序:
 ●: 上下層が放射年代で規定, ▲: 上下層が未規定
 : 古文書解釈, 近代観測

信頼度
 ○>△>□

第13-2表(2) 活動履歴帳票(岩木山火山)

13. 岩木山火山



第13-3表 収集文献リスト（岩木山火山）

13 岩木山火山

No	著者	発行年	題名	雑誌名	記載事項の有無									備考	
					噴出量-時間 階段図	噴出量 (体積)	方法	活動 年代	方法	層序	噴出物 分布	噴火 様式	マグマ 特性	その他	
13-a	井村隆介	1995	岩木火山の噴火史	日本地質学会 講演要旨集	x	x	-	○	B	○	x	○	x	-	
13-b	佐々木実、山本七代、鎌田慎也	2009	岩木火山、最新期活動噴出物の岩石学的研究	日本火山学会 講演予稿集	x	x	-	○	F	x	x	○	○	-	
13-c	佐々木実、小川洋、斎藤憲二、 海田浩司	1996	岩木火山の形成史	日本火山学会 講演予稿集	x	x	-	○	A (K-Ar)	○	○	○	○	-	
13-d	三村弘二、金谷弘	2001	東北日本、岩木火山北東麓の流れ山のK-Ar年代と岩木火山の 火山体形成およびその崩壊時期	火山	x	○	e	○	A (K-Ar)	○	○	○	x	-	
13-e	小池一之、田村俊和、鎮西清高、 宮城豊彦	2005	3 東北	日本の地形	x	x	-	○	D	○	○	○	x	-	
13-f	佐々木実、青森県史編さん自然部会	2000	岩木火山	青森県史 自然編 地学	x	x	-	○	D	○	○	○	x	-	
13-g	Koji Umeda, Masao Ban, Shintaro Hayashi, Tomohiro Kusano	2013	Tectonic shortening and coeval volcanism during the Quaternary. Northeast Japan arc	J. Earth Syst. Sci.	○	○	b,c	○	D	x	x	x	x	-	東北日本の火山一括
13-h	第四紀火山カタログ委員会	1999	第四紀火山カタログ		x	○	e	○	D	○	○	○	○	-	

◎:記載あり(最も)
○:記載あり
(噴出量の対象
●:降下火砕物
■:溶岩流
▲:山体一括)

a:地質調査
b:地質図等
c:引用
d:その他
e:不明

A:放射年代
B:層序
C:古文書記載
D:引用
E:その他
F:不明